

信用金庫の医療・福祉向け貸出残高

ポイント

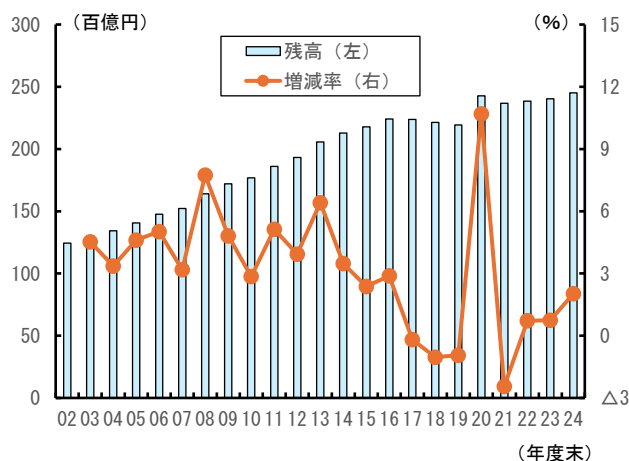
- 2024 年度末の信用金庫の医療・福祉向け貸出残高は、前期比 2.0%、4 百億円増加の 2 兆 45 百億円となり、3 年連続で前年度末を上回った。
- 貸出金残高に占める医療・福祉向け貸出残高の割合（医療・福祉向け貸出比率）は、2002 年度末の 1.9%から 2024 年度末には 3.0%となった。
- 2024 年度末の地区別の医療・福祉向け貸出残高は、東海、東京、近畿などの 8 地区で前期比増加し、四国、北海道、東北の 3 地区で前年度末を下回った。
- 2024 年度末の信用金庫別の医療・福祉向け貸出比率（構成比）は、① 2 %未満が 29.9%、② 2 %以上 4 %未満が 45.2%、③ 4 %以上は 24.8%となった。

1. 全国状況

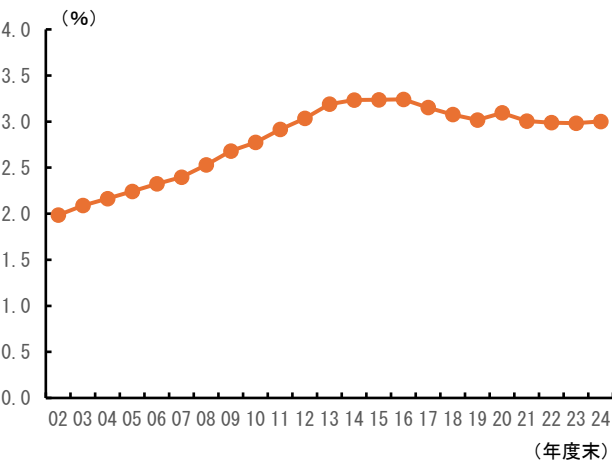
2024 年度末の信用金庫の医療・福祉向け貸出残高¹は、前期比 2.0%、4 百億円増加の 2 兆 45 百億円となり過去最高を更新した（図表 1）。コロナ禍の医療体制整備などに伴う大幅増の反動減（2020 年度末：10.6%増、2021 年度末：2.4%減）を経て、直近 3 年間は再増加に転じている。

貸出金残高に占める医療・福祉向け貸出残高の割合（医療・福祉向け貸出比率）は、2002 年度末の 1.9%から 2024 年度末には 3.0%に上昇している（図表 2）。

（図表 1）医療・福祉向け貸出残高の推移



（図表 2）医療・福祉向け貸出比率の推移



（備考）1. 本稿では他業態との合併等を考慮しない。

2. 図表 1 から 4 まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

¹ 医療・福祉向け貸出の統計開始は 2002 年 12 月となる。

2. 地区別の状況

2024 年度末の地区別の医療福祉向け貸出残高は、東海（3.6%増）、東京（2.8%増）、近畿（2.4%増）などの8地区で前期比増加し、四国（2.3%減）、北海道（2.3%減）、東北（2.1%減）で前年度末を下回った（図表3）。また2024 年度末の1先あたり残高は、東海の63百万円が最も大きく、北陸（59百万円）、四国（54百万円）が続く。なお、2002年度末との比較では九州北部の残高が3倍に達した。

（図表3）地区別の医療・福祉向け貸出残高

(単位：億円、%、百万円)

地 区	02年度末	10年度末	20年度末	23年度末	24年度末	02年度末比		02年度末 1先残高	24年度末 1先残高	24年度末 比 率
						増減額	増減率			
北海道	1,061	1,175	1,510	1,479	1,445	384	36.2	56	52	4.0
東 北	574	823	841	757	741	167	29.1	50	49	2.6
東 京	1,215	1,689	2,999	2,918	3,000	1,785	146.9	26	32	1.9
関 東	2,197	3,516	4,319	4,174	4,254	2,057	93.6	46	44	2.8
北 陸	416	549	568	497	497	80	19.3	59	59	2.7
東 海	3,290	4,140	5,835	6,097	6,321	3,031	92.1	55	63	3.7
近 畿	2,328	3,797	5,485	5,514	5,651	3,322	142.7	49	49	3.1
中 国	460	855	1,115	1,094	1,100	639	138.7	39	43	3.0
四 国	202	267	483	417	407	204	100.9	50	54	3.1
九州北部	146	367	474	477	485	339	232.0	30	32	3.1
南九州	529	482	606	568	580	50	9.5	70	45	3.3
全 国	12,434	17,687	24,276	24,031	24,518	12,083	97.1	47	47	3.0

（備考）沖縄県は全国に含む。

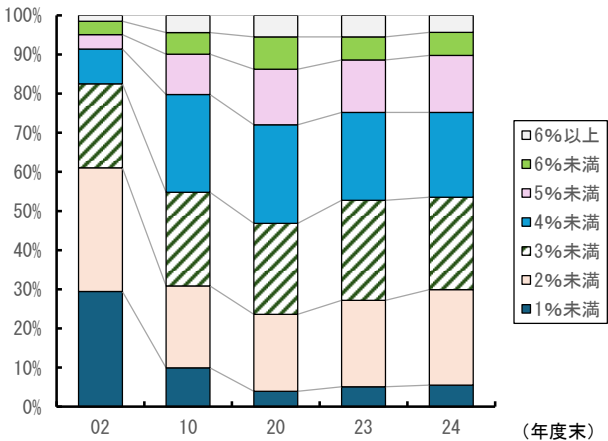
3. 信用金庫別の状況

2024 年度末の信用金庫別の医療・福祉向け貸出比率（構成比）は、①2%未満が29.9%（76金庫）、②2%以上4%未満が45.2%（115金庫）、③4%以上は24.8%（63金庫）となった（図表4）。

2024 年度末の平均は3.0%だったが、中央値をみると2.8%となる。また8%を超える信用金庫が2金庫あり、参考までに本店所在地を確認すると東海と近畿にそれぞれあった。

2002 年度末と2024 年度末の構成比を比べると、1%未満が29.4%（96金庫）から5.5%（14金庫）に、6%以上は1.5%（5金庫）から4.3%（11金庫）にそれぞれ変化している。

（図表4）信用金庫別の医療・福祉向け貸出比率（構成比）



本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。